

ハイベックのお洗濯では、その衣類が洗えるか、洗えないかは取扱い絵表示のドライマークで判断しています。ドライマークが×になっていなければハイベックで簡単に洗うことができるのですが、今回はさらにステップアップ！衣類の素材について勉強してみましょう。素材の性質を理解し、その性質を少し意識しながらお洗濯するようになると、今まで以上に風合い良く衣類を洗えるようになりますよ！

知って安心！ 素材の性質

まずは腕だめし。ちょっと難しいかも知れませんが、下記の5つの特質にあう素材を(a)～(e)の中から選んでみて下さい。(答えは一番下にあります)



- 糸が細く、美しい艶としなやかで暖かな感触を持つが、黄変しやすい。
 - 摩擦や引っ張りに強く非常に軽いが、吸湿性は小さく、耐熱性は劣る。
 - 日本で最初に作られた化学繊維で、しなやかでさらっとした肌触りがあり、美しい色に染まる。
 - 軽くて温かく、吸湿性にすぐれ、しわになりにくいため、収縮しやすく、虫害を受けやすい。
 - 吸湿性に富み丈夫。肌ざわりがよく染色性・耐洗濯性もよいが、縮みやすくしわになりやすい。
(a) 綿 (b) 毛 (c) 絹 (d) ナイロン (e) レーヨン

毛は繊維の表面がスケールと呼ばれるうろこ状の表皮で覆われており、水分を含むとそれを発散させようとスケールを開きます。この状態のとき押したり揉んだりすると、スケールが絡み合いフェルト収縮してしまいます。また羊毛にはしっかりした毛髄があるのに対しカシミヤには毛髄が無く撫りが甘いものが多く、洗濯時の揉み作用は特に厳禁。着用時のスレにも注意が必要です。アンゴラは他の獣毛と違い、①「クリンプ」といわれるウェーブがないので毛が抜けやすい②繊維の中心が空洞になっていて軽く保温性に優れているが、その反面静電気が発生しやすく空洞内に汚れの粒子がたまりやすい③ドライクリーニングで再汚染されやすい、という性質があります。何枚かまとめてお洗濯する時は、一番初め(液がきれないなど)にお洗濯する方が良いでしょう。

*逆汚染されやすい素材は他にポリエステルがあります

レーヨンは吸湿性に優れ、染色性がよく、肌触りもよいのですが、シワになりやすく水に弱い(=縮む)繊維です。濡れると強度が低下するので絹、麻、テンセル等と同様強くこすったり硬く絞ったりするのは避けましょう。レーヨンの縮みはスチームアイロンで伸ばすことができます。洗う前に元の寸法を測るか型紙をとっておくようにします。アイロン掛けがしやすいよう購入時になるべくシンプルなデザインのものを選ぶようになります。レーヨンを改質して強度を高めたものにポリノジックという素材があります。

綿は一的な素材で、術の進歩しなやか、一トな製品はが多く、ローンのたもの、やさしくましょう。

綿は一般的に丈夫で実用的な素材ですが、最近は紡績技術の進歩によって、より軽くしなやかで光沢のあるデリケートな製品が出回っています。綿製品は直接肌に触れるものが多く、洗濯頻度も高いのでローンのような極細糸を使ったもの、薄手の生地のものはやさしく手洗いするようにしましょう。

ナイロンは摩擦や折り曲げ、引っ張りに対して非常に強く軽くて丈夫な繊維です。水に濡れてもほどんど水を吸わないので早く乾き、お洗濯は簡単。弾性に富みシワにもなりにくくカビや虫の害も受けにくのですが、熱に弱いのでタバコやストーブなどによる着用時の穴あきに注意が必要です。また、絹ほどではありませんが紫外線に当たると徐々に黄変するので白地のものは必ず陰干しにしましょう。

竹子 1 (a) 2 (d) 3 (c) 4 (b) 5 (e)

お問い合わせもお客様相談室に寄せられる様になりました。

また、ドライマーク洗剤のトップブランドであるという自覚のもとに、古くからあるというだけでなく、日夜開発される新素材や環境問題にもいち早く対応し続けて参りました。

大掛かりなコマーシャルや宣伝を行わないにもかかわらず、これだけ長い期間ご支援を受けていることは、ひとえに使って頂いたお客様からのご紹介・口コミによるもので、「ドライマークが家庭で洗える」という考え方や「ハイ・ベック」という商品を、皆様に育てて頂いたという感がぬぐえません。

このことに深く感謝し、バイオニアとして今後も皆様のご期待に添える、より良い商品作りに邁進して行きたいと、心も新たに考えております。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

おかげさまで「ハイ・ベツク」が誕生して、二十三回目の春を迎えることができました。

心新たに



2003 spring/summer

ハイ・ベック 通信



beautiful elegant cleaning



取扱い絵表示の チェックポイント

